

この資料の構成について

・各教科とも以下のような構成になっています。

教科名 小・中学校 学年 教科 単元名

※出典についての記述

・今回の資料は、「埼玉県小中学校教育課程評価資料」中で紹介されている学習指導案等をもとに作成しました。

●これは、「埼玉県小中学校教育課程評価資料 平成23年3月」のP〇〇～〇〇を基に、加筆・修正して作成したものです。

我が国の国土では様々な自然災害が起こりやすいこと、その被害を防止するために国や県が様々な対策や事業を進めていることなどを調べ、防災の取組に関心をもってかかわろうとする態度を育成する授業です。展開中の1から4は以下の【課題解決のための授業改善の視点】のそれぞれの取組であることを表します。

【課題解決のための授業改善の視点】

※扱った授業の主な内容についての説明

- 1 見通しを立てたり振り返ったりする学習活動
- 2 作業的・体験的な学習、問題解決的な学習
- 3 説明や論述、討論などの言語活動の充実
- 4 個に応じた指導の充実 指導と評価（支援）

※ここでは、各教科の実態に即して、授業を改善していくための視点を示しています。これは、「確かな学力の育成」を目指した「授業改善ポイント」に関連したものを中心に取り上げました。

【本時の目標】

学習活動	学習内容	評価と指導の工夫 評価（→） ★教育に関する3つの達成目標との関係 ◎学力向上プランとの関連
	「教育に関する3つの達成目標」との関わりを示しています。	★学習の準備を整え、授業にのぞむことができ
	新たな学習問題 他の自然災害にも水害と同じように対策が行われているのだろうか。	※【課題解決のための授業改善の視点】1～4との関連を示しています。
		※授業改善の視点について説明しています。
		学習問題を提示（板書）し、学習の見通しをもたせましょう。 1
		・自然災害年表

【板書計画】

※板書計画を示しています。教師自身が授業の見通しを持つために、指導案に板書計画を入れるようにしましょう。

※参考にした資料を紹介しています。

参考 小学校学習指導要領解説 社会編（文部科学省）
 埼玉県小中学校教育課程評価資料（埼玉県教育委員会）
 言語活動の充実に関する指導事例集（文部科学省）

※吹き出しの違いについて

①本資料作成にあたり説明のために追加した吹き出し



②「埼玉県小中学校評価資料」にもともと記述されている吹き出し



